

## 平成30年度 九州支部行事

月	日	内容
4	20	第1回役員会
5	25	第1回幹事会・講演会
6	28,29 30 30	九州支部ワークショップ(久米島ワークショップ) 第55回化学関連支部合同九州大会 第23回化学工学会九州支部学生賞審査会
7, 8	7/13,14 7/25- 8/10	第29回九州地区若手ケミカルエンジニアリング討論会 第49回化学工学の基礎講習会(7/25-7/27, 8/1-3, 8/8-10)
9	25	第2回役員会(拡大)
10	13,14 22-2/5	第5回九州地区大学-高専若手研究者研究・教育セミナー 第13回基礎延岡出前講習会
11	30-12/3	第31回化学工学に関する国際シンポジウム(タイ・チェンマイ)
31.1	25 25	第21回企業と大学・高専の人材育成懇談会 第3回役員会
3	6	第2回幹事会

### 九州支部（久米島）ワークショップ（第6回）報告

実施日： 平成 30 年 6 月 28 日～29 日  
講演会： 具志川農村環境改善センター  
(〒901-3192 沖縄県島尻郡久米島町仲泊 730 TEL098-985-2444)  
見学会： 沖縄県海洋深層水研究所など久米島東部地域  
(〒901-3104 沖縄県島尻郡久米島町字真謝 500-1 TEL098-985-8655)  
参加人数： 講演会 41 名（講師 3 名含む）  
懇親会 41 名（講師 3 名含む）  
見学会 32 名  
主催： 化学工学会九州支部、石油学会九州・沖縄支部、日本海水学会西日本支部  
協賛： 海洋深層水利用学会

#### 実施内容

久米島には、沖縄県海洋深層水研究所をはじめ、海洋温度差発電実証施設や淡水施設、車えびや海ぶどうなどの養殖施設などを統合した「海洋温度差発電における発電後海水の複合利用実証事業」（久米島モデル）を推進しており、エネルギーと資源の未来を考えるにふさわしい地域であるとの思いから企画したものである。

ワークショップでは、1 日目に講演会を行った。講演は、各支部からの推薦講演 3 件と一般講演 12 件が行われた。石油学会からの推薦講演は、北九州市立大学の朝見賢二教授の講演であった。日本海水学会からの推薦講演は、山口大学の比嘉充教授の講演であった。化学工学会からの推薦講演は、佐賀大学の池上康之教授の講演で、久米島での海洋温度差発電 (OTEC) の実証研究と将来展望に関するものであった。まさに、3 件の推薦講演ともにエネルギーと資源の将来を考えるにふさわしい内容であった。会場からも多くの質問があり、活発な講演会となった。

2 日目は、海洋深層水関連施設である海洋温度差発電実証施設や沖縄県海洋深層水研究所などを見学した。

## 第 55 回化学関連支部合同九州大会 報告

平成 30 年 6 月 30 日、北九州国際会議場において、第 55 回化学関連支部合同九州大会が行われました。特別講演 1 件、依頼講演 8 件、一般ポスター発表 671 件（うち化学工学分野から、依頼講演 1 件、一般ポスター発表 86 件の発表）が行われ、大変盛況のうちに終わりました。化学工学会九州支部では、48 件のポスター賞応募発表に対し 26 人の審査員で化学工学分野の審査を行い、下記の優秀発表者 7 人をポスター賞として表彰いたしました。これらの発表者には、懇親会において吉塚和治支部長より賞状と副賞（3000 円分の図書カード）が手渡されました。ここに受賞者の栄誉を称えますと共に、ポスター賞審査にご協力頂きました審査委員の先生方に厚く御礼申し上げます。

化学工学会九州支部推薦 依頼講演

名嘉山祥也（九州大）「電気二重層の理論と直接数値計算」

ポスター賞受賞者（順不同）

山根颯一郎（九州大）

「縫合可能な組織工学的人工胆管の開発と胆管上皮細胞の取得に関する検討」

増岡宏樹（九州大）

「リチウムイオン電池電極設計のための反応輸送解析とパラメータ同定」

山本恵美子（九州大）

「Gel-in-Oil (G/O) エマルションの調製と培養真皮モデルによる機能性評価」

大林洋貴（九州大）

「相補的相互作用を利用した混合集合体の創製と DDS 応用」

MISSION, Elaine Gabutin（熊本大）

「Cleaving of C-O Glycosidic Linkage in Polysaccharides through the Synergy of Microwave Irradiation and Graphene-based Catalysts」

稲村恒亮（崇城大）

「ハイブリッドリボソームを用いた腫瘍原性幹細胞の選択的排除に関する研究」

瀧脇菜子（佐賀大）

「新規三脚状抽出試薬によるアルミニウム族金属の抽出分離」

審査委員氏名

審査委員長：吉田昌弘（化学工学会九州支部企画幹事）

審査取りまとめ役：森貞真太郎（Q-NET 会長）

審査委員（26 名）（順不同）

井嶋博之、井藤彰、井上元、河邊佳典、白木川奈菜、田原義朗、寺山友規、水本博、若林里衣、池野慎也、山村方人、中澤浩二、相田卓、シャーミン・タンジナ、瀬戸弘一、三島健司、川喜田英孝、森貞真太郎、キタイン・アルマンド、佐々木満、古水雄志、大島達也、武井孝行、中里勉、吉田昌弘、大河平紀司

## 平成30年度化学工学会九州支部学生賞審査会報告

平成30年6月30日にAIMビル（北九州市小倉北区）において平成30年度九州支部学生賞審査会が行われました。本学生賞は、学生自身の能力を審査する観点から、研究の理解度やプレゼンテーション能力を特に重視して毎年審査が行われている支部企画です。本年は博士課程（博士後期課程）3名、修士課程（博士前期課程4名が審査会において研究発表を行い、7名の審査委員によって厳正に審査が行われました。その結果、受賞者は下記の通り、博士課程の部は1名、修士課程の1名の方に決定しました。発表した学生諸君の研究への理解、発表能力も高いレベルのものが多く、今後のさらなる活躍が期待される審査会となりました。長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様は、心より感謝申し上げます。

### 博士課程の部

Bual Ronald Perocho（九州大学）

「Functional evaluation of L-ECM nanofibers in invitro culture and transplantation of L-ECM gelsheet to rat」

### 修士課程の部

水野梨瑚（九州大学）

「油状ナノ分散化技術を利用した新規エマルジョンアジュバントの開発」

審査委員氏名（順不同）

森貞真太郎、吉田昌弘、名嘉山祥也、松根英樹、若林里衣、星野友

### H30 年度 第 29 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会報告

実施日：平成 30 年 7 月 13 日～14 日  
会場：阿蘇プラザホテル（〒869-2301 熊本県阿蘇市内牧 1287 番地）  
参加者総数：134 名（学生 96 名、教職員・一般 38 名）  
担当校：九州大学  
実行委員長 若林里衣 九州大学大学院 後藤・神谷研究室

学生幹事 代表 吉田航 九州大学大学院 後藤・神谷研究室  
庶務 孔慶リョウ 九州大学大学院 後藤・神谷研究室  
小坂秀斗 九州大学大学院 後藤・神谷研究室

#### 討論会実施内容

会場制の合宿形式で行った。別紙 1 に示すプログラムに従い、第 1 日目は、学生企画、特別講演 1、企業紹介および交流会を順に実施した。第 2 日目はポスター発表を実施したのち、特別講演 2、総合討論を行って本会を閉会した。

#### ○学生企画 「若手ケミカルエンジニア×謎解きゲーム 2018@阿蘇」

学生企画参加者 70 名を 10 グループに分け、「リアル脱出ゲーム」のような趣向の企画を行った。この企画では学生間の協力が不可欠となるような状況を与え、学生間での活発な交流を促すことにより、その後のポスターセッションでより踏み込んだ内容での討論ができる環境を提供することを目的とした。グループはできるだけ異なる所属の者同士が一緒になるように編成した。グループ内で意見を出しながら次々と化学に関連する課題を解き進め、ゴールに向かい競争する。正解を導くと屋外へ次の問題やヒントを受け取りに行くように設定するなど、オリエンテーリングの要素も組み込んで課題を設定した。参加者が熱心に取り組む様子が見て取れた。企画自体は概ね好評であったが、問題の難易度が少し高いという声が挙がった。

#### ○特別講演 1 「免疫細胞を活用するバイオマテリアル」 講師 戸井田 力 氏(産総研)

戸井田 力氏による特別講演を実施した。免疫細胞・マクロファージを利用した、DDS キャリヤーや再生医療への応用に関する研究についてご講演いただいた。学生たちにとって、産総研などの研究機関の研究員の方から発表を聞く機会は少ないため、大変興味深かったようである。「今後の自身の研究に役立つ」といった意見や、「講演時間が短かったため、もっと詳しく聞きたかった」という意見が寄せられた。

#### ○企業紹介・交流会

企業紹介は、住友ベークライト株式会社、株式会社 クラレ、大正製薬株式会社、株式会社 カネカ、新日鉄住金化学株式会社、東レ株式会社、KAICO 株式会社、三菱ケミカル株式会社の計 8 社の社員の方から、各 10 分の持ち時間で会社の概要、製品開発の取り組み、学生へのメッセージなどの内容を含む発表を行っていただいた。その後、展示会形式での交流会を開催し、学生や教員が興味のある企業ブースで活発に交流・質問をしていた。「就職活動に大変参考になった」「普段なかなか機会のない企業の方と気張らず交流できた」という意見が寄せられ、特に就職活動を控える学生にとって大変有意義な会となったようである。一方、就職活動を終えた修士 2 年の学生がやや消極的であった点、参加人数に対して会場が狭かった点は改善の余地があると考えられる。

その後、夕食・懇談会を行った。企業参加者にもご参加いただき、企業と学生・教員の交流がさらに深まる様子が見えられた。

#### ○ポスター発表

7 月 14 日 8:30 からポスターセッションを実施した(奇数番 60 分+偶数番 60 分)。また、企業参加者についてもそれぞれポスター展示を行っていただいた。学生ポスター発表の審査対象は 95 件であった。

参加者全員が審査員となり、投票によりポスター審査を実施し、上位 2 名を最優秀賞、次の 10 名を優秀賞受賞者として選出した。閉会式にてポスター賞受賞式を行い、賞状と副賞(図書券 3,000 円)を授与した。

○特別講演2「産学連携研究の利点と欠点」講師 斎藤 恭一 氏(千葉大学)

斎藤 恭一氏に約 50 分のご発表を頂いた。斎藤先生がこれまで行ってこられた産学連携研究の利点と欠点について、ご自身の成功体験や失敗談等を交えながら話していただいた。学生や若手教員がどのようなことを考えて日常を過ごすべきかというメッセージや、面白いプレゼンテーションをするためのヒントが随所に見られ、アンケートでも「もっと話を聞きたかった」等のコメントがあり大好評であった。

その後、ポスター賞授賞式、総合討論、会計報告、アンケート調査を行ってから、本会を閉会し、集合写真を撮影して解散とした。次回第 30 回大会は崇城大学 櫻木美菜助教を世話人として開催される予定である。

**第 25 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 プログラム**

**【第 1 日目 平成 30 年 7 月 13 日（金）】**

- 13:00~13:10 開会式  
 13:00~14:30 学生企画  
     「若手ケミカルエンジニア×謎解きゲーム 2018@阿蘇」  
 14:45~15:15 特別講演 1  
     「免疫細胞を活用するバイオマテリアル」  
     戸井田 力 氏（産業技術総合研究所 研究員）  
 15:20~17:30 企業紹介・交流会  
     ・住友ベークライト(株)  
     ・(株)クラレ  
     ・大正製薬(株)  
     ・(株)カネカ  
     ・新日鉄住金化学(株)  
     ・東レ(株)  
     ・KAICO(株)  
     ・三菱ケミカル(株)

**【第 2 日目 平成 30 年 7 月 14 日（土）】**

- 8:30~10:30 ポスター発表  
 10:50~11:40 特別講演 2「産学連携研究の利点と欠点」 斎藤 恭一 氏（千葉大学 教授）  
 11:40~12:00 総合討論・表彰式・閉会式

**第 29 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 ポスター賞受賞者**

No.	氏名	所属	演題
53	○永井杏奈	崇城大学	機能性分子を導入した機能性ナノ孔複合材料の応用
94	○水野梨瑚	九州大学	S/O/W 型アジュバンドの開発と細胞毒性評価
4	松尾美波	有明高専	単分散セラミック球の核生成デザイン
32	久原郁也	佐賀大学	カチオン性高分子ゲルをシェルとするコアシェル型シリカ粒子の合成と粒子膜への応用
34	AGUTAYA Jonas	熊本大学	Insights into the cleavage of the glycosidic bonds of hesperidin in its acid-catalyzed hydrolysis
66	福原芳樹	鹿児島大学	創傷治癒効果ならびに皮膚接着性を有するペクチンをベースとしたヒドロゲルの開発
77	田口裕貴	九州大学	正確に孔径制御された金属メッシュを用いた細胞分離方法の検討
78	服部春香	九州大学	カスケード反応を指向する多孔質モノリス型フローリアクターの開発
82	佐藤友哉	九州大学	Ni 系合金の水素吸脱蔵時の吸発熱挙動
83	吉田航	九州大学	レアメタルの高度分離のための反応界面設計と新規膜分離プロセスへの展開
86	大瀨 有紀	九州大学	機能化タンパク質固定化 Hydrogel marble のオンデマンド作製
93	花田隆文	九州大学	高分子包含膜を用いた廃自動車触媒からの白金金属分離プロセスの開発

○は最優秀賞

平成26年度「第49回化学工学の基礎講習会」報告

【開催日】 7月25日～7月27日  
8月1日～3日、8月10日（全9回）

【会場】 九州大学西新プラザ 大会議室  
福岡市早良区西新2-16-23

【受講者】

延べ受講申込数 279名  
延べ出席者数 261名

		申込 / 出席
1. 化学工学基礎	〔7月25日（水）〕	33 / 30
2. 流動	〔7月26日（木）〕	36 / 33
3. 伝熱	〔7月27日（金）〕	35 / 32
4. 吸着・イオン交換	〔8月1日（水）〕	26 / 21
5. 調湿・乾燥	〔8月2日（木）〕	27 / 24
6. 晶析	〔8月3日（金）〕	28 / 27
7. プロセス制御	〔8月8日（水）〕	27 / 27
8. 反応工学（1）	〔8月9日（木）〕	36 / 36
9. 反応工学（2）	〔8月10日（金）〕	31 / 31

【所属】

- ・日本合成化学工業(株)
- ・三菱ケミカル(株)
- ・AGC エスアイテック(株)
- ・新日鉄住金化学(株)
- ・デンカ(株)
- ・ツネイシカムテックス(株)
- ・住友化学(株)大分工場
- ・(株)新菱
- ・KJ ケミカルズ(株)
- ・JNC(株)
- ・熊本高等専門学校
- ・薩摩酒造(株)
- ・日本ユピカ(株)
- ・日揮触媒化成(株)
- ・カクイ(株)
- ・三井化学(株)
- ・昭和電工(株)大分コンビナート

(申込順)



**第5回「九州地区大学-高専若手研究者研究・教育セミナー」報告**

**【開催日】** 平成30年10月13日～14日

**【会場】** 佐賀大学理工学部8号館5F 国際環境セミナー室  
(佐賀県佐賀市本庄町1)  
主催 化学工学会九州支部若手エンジニア連絡会 (Q・NET)  
共催 西九州化学工学懇話会

**【参加者】** 45名(教員10名、学生35名)

内訳

有明工業高等専門学校	5名(教員1名、学生4名)
熊本工業高等専門学校	2名(教員1名、学生1名)
都城工業高等専門学校	1名(教員1名)
佐世保工業高等専門学校	3名(教員1名、学生2名)
鹿児島大学	2名(教員1名、学生1名)
九州大学	3名(教員1名、学生2名)
宮崎大学	3名(教員1名、学生2名)
佐賀大学	26名(教員3名、学生23名)

平成30年度「第13回基礎延岡出前講習会」報告

【開催日】 平成30年10月22日、11月19日、12月3日  
12月7日、平成31年1月10日、1月11日、  
1月21日、2月5日 (全8回)

【会場】 旭化成研修所 セミナープラザ青雲 (延岡市)

【講師】

1. 化学工学基礎	岩井芳夫 (九州大学)
2. 攪拌・混合	梶原稔尚 (九州大学)
3. 吸着・イオン交換	上江洲一也 (北九州市立大学)
4. 抽出	大渡啓介 (佐賀大学)
5. ガス吸収	佐々木満 (熊本大学)
6. 粉粒体操作	中里勉 (鹿児島大学)
7. 調湿・乾燥	山村方人 (九州工業大学)
8. 晶析	須藤省吾 (新化学技術推進協会)

【受講者】 延べ受講申込数 127名

		受講生
1. 化学工学基礎	[10月22日]	24名
2. 調湿・乾燥	[11月19日]	25名
3. ガス吸収	[12月3日]	17名
4. 粉粒体操作	[12月7日]	9名
5. 吸着・イオン交換	[1月10日]	10名
6. 攪拌・混合	[1月11日]	20名
7. 超湿・乾燥	[1月21日]	17名
8. 晶析	[2月5日]	5名

**第31回化学工学に関する国際シンポジウム（タイ・チェンマイ）**

【開催日】 平成30年11月30日、12月1日～2日

【会場】 Green Nimman CMU Residence@UNISERV CMU  
(タイ国チェンマイ市)

【スケジュール】

【第1日目 平成30年11月30日】

16:00-18:00 Registration

【第2日目 平成30年12月1日】

07:30-08:30 Registration

08:30-10:30 Oral presentation

10:30-10:45 Break

10:45-12:00 Oral presentation

12:00-13:00 Lunch

13:00-14:15 Oral presentation

14:15-14:30 Break

14:30-15:00 Oral presentation

15:00-17:30 Poster presentation

17:30-18:00 Break

18:00-21:00 Banquet

【第3日目 平成30年12月2日】

09:00-16:00 Technical visit

## 第21回「企業と大学・高専の人材育成懇談会」

【開催日】 平成31年1月25日（金） 午後1時00分  
（受付開始：午後12時30分）

【会場】 懇談会： TKP ガーデンシティ博多（阿蘇1、阿蘇2）  
懇親会： TKP ガーデンシティ博多（高千穂1、高千穂2）  
（福岡市博多区博多駅前3-4-8 サットンホテル博多シティ内5F  
TEL:092-474-5145）

【参加者】 47名

【参加企業】 16社29名

新興プラントック(株)・DIC(株)・(株)高田工業所・JNCエンジニアリング(株)  
西部石油(株)・JNC(株)・(株)エーピーアイコーポレーション・黒崎播磨(株)  
ニプロ(株)・宇部興産(株)・三井化学(株)・KJケミカルズ(株)・(株)フジキン  
大分瓦斯(株)・昭栄化学工業(株)・(株)ツムラ

【参加校】 高専：5校5名 ・ 大学8校13名

熊本高等専門学校・北九州工業高等専門学校・佐世保工業高等専門学校  
久留米工業高等専門学校  
九州工業大学・北九州市立大学・福岡大学・佐賀大学・熊本大学  
崇城大学・鹿児島大学・九州大学